

OSSライセンス情報のニーズの構造

セミナー・勉強会の展開

セミナー・勉強会の質問や感想から見える

多様な参加者

所属企業従業員規模

- 10人以下: 3%
- 10-49人: 2%
- 50-99人: 15%
- 100-499人: 18%
- 500-999人: 13%
- 1000-4999人: 12%
- 5000人以上: 10%
- 非会社組織: 15%
- その他: 2%

従事している業務

- 経営社業全般: 17%
- 情報システム: 13%
- 研究・開発・設計・企画: 30%
- 法務・知財: 7%
- 営業・販売・サービス: 8%
- 生産・製造: 0%
- その他: 25%

セミナー・勉強会の展開

- 2011/07/22 発起記念セミナー
 - オープンソースライセンスとリスク管理と未来
 - 「安定期のオープンソース活用」
- 2011/11/30 東京セミナー
 - 知って得るオープンソースライセンスの最新動向
 - 「OSSを有効活用するためのライセンス検証とソフトウェア開発におけるベストプラクティス」
 - 「富士通のOSSリスク管理の取り組みと、日中韓OSS推進WGでの取り組み」
 - 「パネルディスカッション(オープンソースの更なる発展に欠かせないものとは)」
- 2012/02/09 名古屋セミナー
 - 「ソフトウェアライセンスの基礎知識」
 - 「オープンソースソフトウェアに関する日立ソリューションズの取り組み」
- 2012/03/09 鳥取セミナー(鳥取大学様と共同開催)
 - 「ソフトウェアライセンスの基礎知識」
 - 「オープンソースライセンスによるビジネス戦略の展開」
 - 「オーストラリアにおけるOSSビジネス展開」
 - 「知的財産権の歴史的変遷とそれを踏まえた今後の大企業予測」
- 2012/02/10 大阪セミナー
 - 「ソフトウェアライセンスの基礎知識」
 - 「OSS利用にまつわる心配とコンプライアンスのススメ」
- 2012/07/30 大分セミナー(大分県オープンソースソフトウェア研究会 主催)
 - 「オープンソースライセンス研究所について」
 - 「ソフトウェアライセンスの基礎知識」
 - 「オープンソースライセンスによるビジネス戦略の展開」
 - 「オーストラリアにおけるOSSビジネス展開」
 - 「知的財産権の社会的意義とオープンソースライセンス」
- 2011/08/17 勉強会
 - 著作権とライセンス
- 2011/10/06 勉強会
 - オープンソースとライセンス
- 2011/10/19 勉強会
 - ライセンスと実践のポイント
- 2011/11/16 勉強会
 - 自由な利用とビジネス
- 2012/02/22 勉強会
 - GPL製品と、GPLと矛盾するライセンスの製品を混在させて1つのプログラムを作る。どのような制約が生まれるか?
 - 異なるライセンスが混ざったプログラムの注意点を議論する
- 2012/03/21 勉強会
 - GPLを適用しているOSS及びその付帯情報※を自社商品に組み込む場合の制約や留意すべき点について
- 2012/05/30 勉強会
 - GPL, AGPLプログラムについて、リンク先のライセンスはどのようなものか?
 - GPLの適用範囲と二次的著作物の範囲について

受講者の質問や感想の分類

疑問・不満・リクエスト	質問・感想のトピック	満足・期待
法の解釈レベルの話はまだ難しかった。もっとOSS寄りの勉強会であった方が良かったです。	(A) 著作権・特許などの全般的基礎知識	著作を考える入り口としてとても理解しやすい説明でした。動的・静的な問題はやはりグレーで判例もないことが分かった。
難しいかもしれませんが、こうなら安全という基準を出せると良いと思います。自治体システムへのOSS導入に必要な手順、モデル契約等を開発してほしい。	(B) OSSライセンスの整理された知識	OSSの定義から詳しく説明していただき、非常に理解しやすかったです。OSSについて契約か宣言かという議論をすることができ、有意義でした。
次回以降は、もっと実例、実践的なCASEで議論ができればと思います。ケーススタディについてもっと具体的なものが必要と思われる。ただし、きわめて限定的なものになりかねないので注意が必要だと思います。	(C) ライセンスの具体例・ケーススタディ	事例を説明いただき、よく理解できました。実態が分かり面白く聞かせていただきました。すでにOSSを販売するビジネス・モデルを持つ会社の取り組みについて参考になった。
オープンソースでビジネスを行う際、どのような課金体系があるのでしょうか。ビジネスサポートについて話があまりなかったもので、どのようなメニューになるのか公開していただきたいです。	(D) ビジネス利用の戦略	Linuxディストリビュータがどのようなことをやっているかの一端を知りえた。すでにOSSを販売するビジネス・モデルを持つ会社の取り組みについて参考になった。

効果的な研修のあり方を議論すると...

...さまざまな考え方が出てくる

企業としては守らなければならない事を教えてあげることが大切。

こういう使い方ができる、こういう事はダメということを区別して教える。

リスクをキーにして、リスクとそれに対する対策とそれらのメリット/デメリット

適正利用のためのマニュアルのようなものがあるとよい。

著作権はさらっと、コピーするのはダメ、と言う感じで。

特許の話をしてしまうとライセンスの話がぼやける。

新人にグレーな部分は教えられない。

著作権とはの話はすべき。

フリーソフトとオープンソースの違いはあった方がよい。

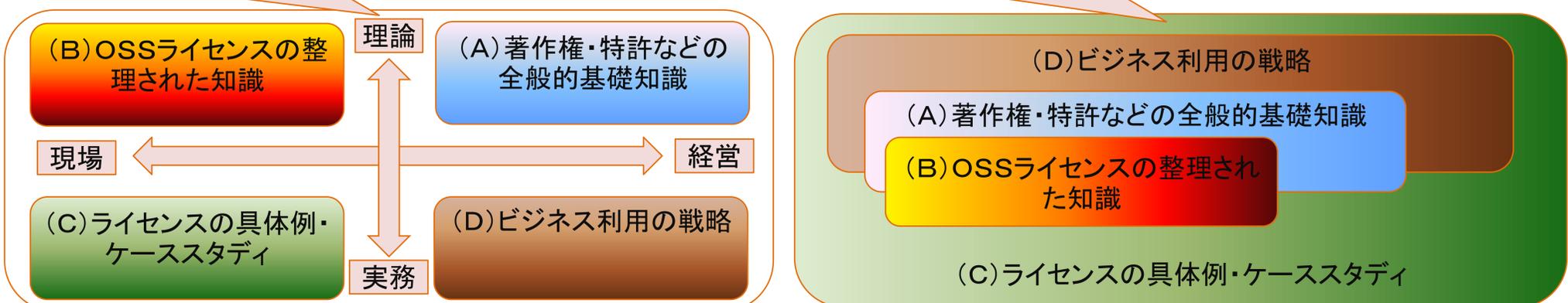
ソフトウェアライセンスの種類、プロプラとOSSを含めた種類分けは必要。

複数ライセンスを盛り込んだ場合の考え方やクラウド事業者としてOSSライセンスをどう理解すべきか。

効果的な研修・教育 ← ニーズの整理

ニーズの位相(直面する業務タスクにより異なる)

ニーズの構造(ノーマスほど重なりが少ない薄色部分に志向)



ポスター発表者

- 杉本等 (静岡大学大学院客員教授、株式会社パドラック代表取締役)
- 藤本亮 (静岡大学大学院法務研究科教授)
- 吉田行男 (株式会社日立ソリューションズ技術開発本部オープンソース技術開発センター長)
- 細谷竜一 (株式会社オージス総研グローバルビジネス推進部部長)
- 筒井敏人 (株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ公共ビジネス本部第三システム部プロジェクト課長)
- 湯澤一比古 (株式会社広告社ぶれいん取締役)
- 増田芳憲 (株式会社ゼンク代表取締役)
- 屋代和将 (株式会社マインド取締役)
- 岡田直子 (株式会社ネットワークコミュニケーションズ代表取締役)
- 山崎実 (株式会社ビイコーポレーション代表取締役)

一般社団法人オープンソースライセンス研究所(OLL)は、日本におけるオープンソースソフトウェア(OSS)の更なる活用推進に向けて、OSSのライセンスの基礎知識やOSSの活用方法、適正に利用するためのライセンスの研究を行い、OSSの健全な利用を促進することにより、ソフトウェア産業の更なる発展を目指します。また日本で唯一、ライセンスに関わる法律関連の課題についても考え、対応することを目指した非営利の組織です。 <http://www.osll.jp/>